



2026年1月16日発信

報道関係者 各位

日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄 /福岡・佐賀地区協議会

「福岡における外国人就労と日本語教育の未来」を開催します。

福岡女子大学は、令和5年度より文部科学省委託事業「日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」九州・沖縄ブロックの拠点校として、地域の大学・日本語学校・自治体・経済団体・NPO団体などと協力して、「日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄(CJTT九州・沖縄)」を組織し、外国人のための日本語教育および日本語教師養成に関わる様々な取組を行っています。

このたび、本事業の取組の一つとして、開催する協議会の一部を、オンラインで一般公開することにいたしました。今回の協議会では、「福岡における外国人就労と日本語教育の未来」をテーマに、福岡・佐賀両県の加盟機関にお集まりいただき、課題解決に向けた協議および連携の場をもつことを目的として実施いたします。外国人就労者が増えるなか、日本語をめぐる支援のあり方は、社会全体で考えていくべき重要なテーマとなっています。2件の基調講演に加え、令和7年度に本コンソーシアム調査部会が実施した、福岡県内の就労現場における外国人材の雇用の実態および日本語教育ニーズに関するヒアリング調査の報告を行い、その内容を踏まえて意見交換を実施いたします。

【実施内容】

- ◆日時 2026年1月31日(土)10:30～12:30
- ◆場所 福岡女子大学地域連携センター 2階セミナー室(福岡市東区香住ヶ丘1-1-1)
- ◆プログラム
 1. 本事業の概要 橋本直幸(福岡女子大学国際文理学部教授)
 2. 基調講演1「日本語教育施策の現状について」 鴨志田暁弘(文部科学省総合教育政策局視学官)
 3. 基調講演2「就労現場の日本語教育」 叶由紀子(一般財団法人日本国際協力センター(JICE)九州支所)
 4. CJTT九州・沖縄地域が求める日本語教師育成のための調査部会報告
「福岡県内企業対象のヒアリングから明らかになったこと」 吹原豊(福岡女子大学国際文理学部教授)
 5. 加盟機関による協議(一般非公開。取材は可)

※一般の方のオンライン参加も受け付けております。申込フォームにご入力ください。

<https://forms.gle/4UNWmSUraJzouCNt8> 1月20日(火)締切

参加機関は、本コンソーシアムに加盟している福岡・佐賀地区の日本語教員養成課程をもつ大学、日本語学校、福岡県国際政策課、公益財団法人福岡県国際交流センター、九州日本語教育連絡協議会などです。

なお、当日午後には一般公開イベントとして、同会場で第2回CJTT日本語学校フォーラム「日本語学校のこれからを考える―認定制度の時代に問われる日本語教員のキャリアと働き方―」を開催予定です。

<https://drive.google.com/file/d/15bxxAmm9gvf4EmRxCoboeH58p2KuvQtD/view> (フォーラム チラシ)

<大学概要>

福岡女子大学は、福岡県立女子専門学校として大正12年(1923年)に開校しました。これは女子の高等教育を使命とした、全国で初の公立女子専門学校です。創立以来100年以上の歴史と伝統をもち、その間に送り出した15,000名を超える卒業生は各方面で活躍し、広く社会に貢献しています。

本学は、国境を越えた幅広い分野で活躍できる「次代の女性リーダー育成」に力を注いでいます。その取り組みの一つとして、初年次の1年間「国際学友寮 なでしこ」で、留学生とともに生活を送る全寮制教育を実施しています。

< 本件に関するお問い合わせ >

公立大学法人福岡女子大学 地域連携センター (日本語教員養成・研修推進拠点整備事業 事務局) (担当: 板野)

TEL : 092-692-3193 WEB : <https://www.cjtt.website/> MAIL : cjtt@fwu.ac.jp